

2018年10月25日

受益者の皆さまへ

三井住友アセットマネジメント株式会社

グローバルA I ファンド

グローバルA I ファンド（為替ヘッジあり）

の基準価額下落について

（10月25日の基準価額の変動要因についてのお知らせ）

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年10月25日、以下のファンドの基準価額が前営業日比5%以上の下落となりましたので、要因等についてご報告致します。

1. 基準価額が前営業日比5%以上下落したファンドの名称とその状況

ファンド名	基準価額（円） （2018年10月25日）	前営業日比（円） （2018年10月24日比）	変動率
グローバルA I ファンド	13,456	-792	-5.56%
グローバルA I ファンド（為替ヘッジあり）	11,459	-616	-5.10%

2. 基準価額の変動要因等について

10月24日、米国株式市場は先週の小幅反発の後で再び値を下げ、S&P500種株価指数は3.1%下落、ナスダック総合株価指数は4.4%下落、MSCIワールドIT指数は4.2%下落となる等、大幅に下落しました。経済成長の頭打ち、米国における金融引き締め政策、新たな関税によるインフレ上昇圧力、イタリア財政懸念、中国経済の減速、そして通貨ボラティリティの高まり等を背景に再びリスク・オフが意識されています。

グローバルAIファンドの保有銘柄は24日、全てのセグメントで下落しており、パフォーマンスはMSCIワールドIT指数を若干下回りました。

為替市場では、米国株式市場の大幅下落とリスク・オフの動きを受けて、小幅ながら円が米ドルに対して上昇しました。

これらのことが基準価額下落の主な要因となりました。

3.今後の見通し

今後数週間にわたる第3四半期の企業決算シーズン、11月6日の米中間選挙、そして11月末に開催されるG20サミットが終了するまで、市場は引き続きボラタイルな動きが見込まれます。

一方で、24日の米国株式市場終了後に発表された企業決算は市場にとってプラスの材料となりました。テスラ、マイクロソフト、サービス・ノウ、ザイリンクスの4社が堅調な決算を発表し、時間外取引で株価は上昇しています。

- ・テスラは市場予想を上回る決算を発表し、高い収益性と良好なフリー・キャッシュフローを示しました。
- ・マイクロソフトは、明るい2019年の業績見通しとともに、売上高・収益とも過去最高となる決算を発表しました。
- ・サービス・ノウは、予想を上回る第3四半期決算を発表しました。
- ・ザイリンクスは、堅調な決算を発表し、またAI推論アプリケーションや5G 向けのビジネス拡大による良好な見通しを示しました。

今回の不透明感の高まりが経済不均衡による持続的な景気後退の始まりであるとはみておらず、金融政策および貿易政策での失政の可能性に対する懸念を反映したものであると考えています。また、長期的にみると、イノベーションが価値創造の原動力であると考えており、現在はAIとデジタル・トランスフォーメーション（デジタル技術の活用によって新たな価値を生み出すこと）を中心としたテクノロジーのパラダイムシフトの未だ初期段階にあると考えています。AI関連銘柄の中には、より魅力的なリスク/リターン水準まで値を下げているものもあります。引き続きこうした株価が大きく変動する機会を捉えてより確信度の高い銘柄を再購入または新規購入し、市場が回復するにつれてより高いリターンが得られるようなポートフォリオの最適化が可能になると考えています。

以上

【当資料のご利用にあたっての注意事項】

- この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。一般社団法人投資信託協会規則に基づき制定した当社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- 投資信託は、値動きのある証券(外国証券には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。
- 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に市場環境にかかるデータ・分析、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは当資料作成時点のものであり、将来の市場環境・運用成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、または分配金が支払われない場合もあり、将来に関し述べられた運用方針も変更されることがあります。

リスク等について

金融商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料等がかかります。国内株式取引の場合は約定代金に対して上限 1.134%(消費税等込み)、ただし、最低手数料 2,700 円(消費税等込み)の委託手数料がかかります。投資信託の場合は、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には、価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や上場有価証券等書面または目論見書等をよくお読みください。

商号等：ワイエム証券株式会社

金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号

加入協会：日本証券業協会